

南無ちゃんのブログ 2022年9月

目次

9月1日	ブドウの出荷準備.....	2
9月2日	シャインマスカットも収穫可能に.....	3
9月3日	ブドウの収穫・発送開始.....	4
9月4日	今日で二日目.....	5
9月5日	今年の中秋節は9月10日土曜日.....	5
9月6日	台風11号通過.....	5
9月7日	アナグマの親玉を捕獲.....	5
9月8日	ブドウの房サイズを音声で読み上げるようにソフトを改良.....	6
9月9日	今日でブドウの収穫1週間目.....	7
9月10日	我が家から見た秋の風景.....	7
9月11日	この樹何の木気になる樹.....	8
9月12日	microHAM u2R.....	9
9月13日	秋も半ば.....	9
9月14日	直売所の問題点.....	10
9月15日	SO2R運用の机上検討.....	10
9月16日	収穫開始から2週間目.....	12
9月17日	台風対策(アンテナ降下).....	12
9月18日	台風対策(ブドウの収穫).....	12
9月19日	事務作業の日.....	13
9月20日	microHAM u2Rが入荷.....	13
9月21日	昨夜は寒かったあ！.....	15
9月22日	収穫開始から20日目.....	16
9月23日	同軸ケーブルによるノッチフィルターの製作.....	16
9月24日	ちかごろ気になる製品.....	17
9月25日	裏庭でピザパーティー.....	18
9月26日	礼肥の施肥.....	19
9月27日	ピオーネのジュース作り.....	20
9月28日	ローテーターコントローラを棚上げ.....	21
9月29日	安芸クイーンのジュース作り.....	21
9月30日	10mバンド用ノッチフィルターの実験.....	23

9月1日 ブドウの出荷準備

今日から9月です。秋雨前線が停滞し、来週には台風11号も接近するという予報なので、ぐずついた天気が当分つづきそうです。今年は異例の早さで梅雨明けして、猛暑が続いたのでブドウの成長も早くなったようで、私が所属している農協では9月1日から選果場に搬入できるそうです。

私も早く収穫を開始したいのはヤマヤマなのですが、明日は薬を貰いに病院に行く予定ですし、朝、収穫する時に雨降りというものは嫌なものなので、いつから収穫を開始するか迷っています。

とはいえ、準備だけは怠りなく完了しておかねばならないので、私設選果場と軽トラックへの簀の子の設置を完了しました。



9月2日 シャインマスカットも収穫可能に

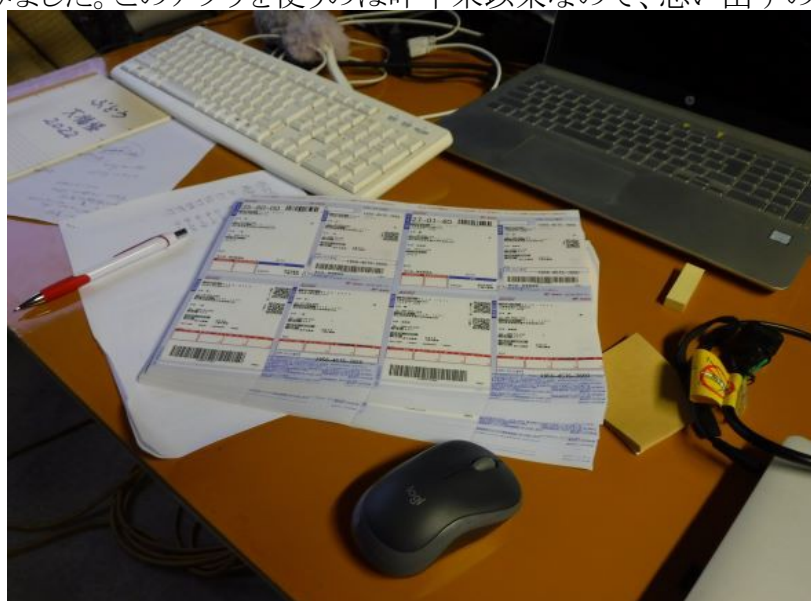
今朝ブドウ園に見回りに行ったついでに、シャインマスカットの粒を一粒摘んで、家に帰ってから糖度を計ってみました。なんと・・・19度近くもありました。これだけ糖度が高ければ、もう出荷可能です。



明日から収穫を開始し、順次予約注文を頂いた方に向けて発送するつもりです。最初はピオーネだけを収穫する予定ですが、この分だとシャインマスカットも既に収穫可能と判断できるので、いつでもピオーネとシャインマスカットの2色詰合せセットやそれに安芸クイーンを加えた3色詰合せセットも発送できそうです。

今朝は高梁市にある病院に薬を貰いに行ってきました。病院に行くまでに、昨日まで頂いている予約注文のデータを全部入力することができました。送り状の枚数にして約430件、2kg箱の数で約590箱です。昨年よりも収穫開始時での注文数は多いように感じています。足りなくなったら事なので、ホームページは「予約は終了しました」と書かせていただきました。

午後からは、ゆうプリRというゆうパックの送り状を作成するアプリで、送り状を取り合えず100件分だけ印刷してみました。このアプリを使うのは昨年末以来なので、思い出すのが一仕事でした。

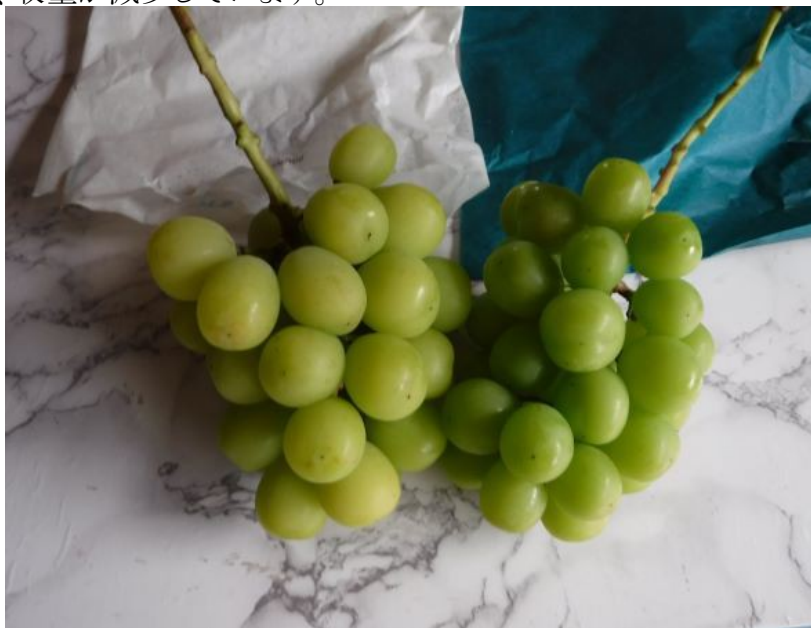


9月3日 ブドウの収穫・発送開始

今日からブドウの収穫を開始し、選果して発送する作業を始めました。今朝は5時半に起床して、ピオーネだけを200房収穫しました。全部で約4000房あるので、このペースだと休み無しで20日間掛かります。今日は初日なので少なめにしましたが、明日は250房にペースアップする予定です。



夕方、道の駅や農協への出荷を終えた後、ブドウ園に行って、シャインマスカットを2房採ってきました。一房あたりの目方と糖度をチェックしました。やや黄色味を帯びているのは白い袋を掛けていて、緑色が濃い方は緑色の袋を掛けていました。糖度は両方とも18度でした。白い袋の方が甘くなるのではないかと期待していましたが、房袋の色と糖度は無関係のようです。困ったことに、今年は池が干上がってしまって灌水できなかったのが、平年よりも一房あたりの目方が少なめです。簡単に言うと、収量が減少しています。



9月4日 今日で二日目

ブドウの収穫・発送を開始して、今日で二日目です。昨日 30 件、本日 29 件の発送を行い、バックログが 386 件あります。予約注文発送処理の進捗率は 13%で、収穫の進捗率は 11%です。まだ始まったばかりなので、体が慣れていないこともあり、疲れます。

これまでの予約注文分の送り状をやっと全部印刷できました。請求書の作成などの事務仕事も沢山残っているので、残業して処理しています。当分休む暇はなさそうです。

9月5日 今年の中秋節は9月10日土曜日

今年の中秋節は9月10日土曜日とのことで、昨年よりも11日も早くなっています。それだけが関係しているのかどうか分かりませんが、私が所属するJAの今年の中秋節の出荷開始は9月1日に早まっていました。早期に熟しているというのも一因だとは思いますが、丁度良かったのかもしれませんが。今のところ、ピオーネは昨年以上に高値で取引されているようです。

中華圏から中秋節前に日本の青果市場のブドウに大規模が買いが入るらしいので、市場関係者にとって中秋節は無視できないイベントなのです。私は、青果市場には殆ど出荷しない(できない・・・直販が手一杯で回す玉がない)ので、全く関係ありません。

9月6日 台風11号通過

今朝は5時に起床して、ブドウを採りに行きました。日の出は5時40分頃なので、未だ薄暗い状態でした。少し風が強かったのですが、収穫作業には影響ありません。今朝は朝焼けがとても綺麗でした。8時頃には雨が降り始めましたが、その前に収穫作業は済んでいたのもので大丈夫でした。

雨は、10時頃に一旦止みましたが、午後2時頃に降り始めて、4時頃には再び止みました。午後には風も弱くなりました。未確認ですが、農作物やアンテナなどは大丈夫だっとうと思います。

9月7日 アナグマの親玉を捕獲

今朝、ブドウ園に収穫に行くと、ブドウの樹の下にしかけておいた罠にアナグマが一頭入っていました。良く見ると大きなアナグマで、箱罠と同じくらいの体長です。8月末頃からずっとブドウ棚の樹の周辺に罠を3基も仕掛けていましたが、やっと掛かりました。

写真では、かしまっているのが小さく見えるかもしれませんが、伸びると箱罠の長さ位あります。思うに、8月上旬にモモの樹の下にワナを仕掛けた際に、箱罠が転倒したり、シャッターが閉まっているのにも抜けの殻だったりしたのは、此奴の仕業だったのかもしれませんが。未だ、他にもいるような感じがするので、引き続きブドウ棚の下にブドウをエサにして罠を仕掛けておくつもりです。



9月8日 ブドウの房サイズを音声で読み上げるようにソフトを改良

かれこれ6~7年前に、初めてブドウを収穫する時に、タニタの秤(RS232C インタフェース付)からデータを貰って、1房あたりの目方を計測するソフトを作成して、ずっと使ってきました。これは、ブドウの房サイズが5kg箱に6房なのか7房なのか・・・12房なのかあるいはそれ以下なのかを画面に表示するようなものです。以前から、目だけではなく、音でサイズを判別できたらいいなあと思っていましたので、収穫の最中ではありますが、ソフトを少し改良しました。

ソフト開発には、Visual Studio Community 2019を使い、言語はVB.NETでWindowsフォームアプリケーションとして作成しています。BeepとかConsole.Beepとか試しましたが、上手く行きませんでした。System.Media.SystemSounds メソッドを色々変えてみましたが、デフォルトではどれも同じメロディー(警告音)でした。仕方がないので、WAVファイルを再生することにしました。以前からそういうアイデアはありましたが、数字を読み上げるWAVファイルを用意するのが面倒なので、その方法は避けていました。今回は、ネットで検索して公開されている数字を読み上げるWAVファイルをダウンロードして使いました。自分の声を録音すれば良さそうなものですが、認識し易い声だと自分でも思っていませんし、聞いていて恥ずかしくなりそうなので避けました。

改良の結果、目で画面を追う必要がなくなり、作業効率がアップしたと感じています。

以下にプログラムソースの一部を示します。WAVファイルは、実行ファイル(exeファイル)が配置されているdebugフォルダーにコピーしています。

```

Try
  If startPos > 0 Then
    If endPos > 0 Then
      Dim len As Integer = endPos - startPos - 4
      Dim weightStr As String = msg.Substring(startPos + 4, len)
      lblWeight.Text = weightStr + "g"
      Beep()
      System.Media.SystemSounds.Hand.Play()
      System.Console.Beep(440, 1000)

      currWeight = Integer.Parse(weightStr)
      Dim delta As Integer = currWeight - prevWeight
      lblDelta.Text = delta.ToString & "g"
      prevWeight = currWeight

      delta = System.Math.Abs(delta)
      If delta >= 1000 Then
        lblGrade.Text = ""
        System.Media.SystemSounds.Exclamation.Play()
      ElseIf delta >= 835 Then
        lblGrade.Text = "6"
        My.Computer.Audio.Play("num006_01.wav")
      ElseIf delta >= 715 Then
        lblGrade.Text = "7"
        My.Computer.Audio.Play("num007_01.wav")
      ElseIf delta >= 625 Then
        lblGrade.Text = "8"
        My.Computer.Audio.Play("num008_01.wav")
      ElseIf delta >= 556 Then
        lblGrade.Text = "9"
        My.Computer.Audio.Play("num009_01.wav")
    End If
  End If
End Try

```

9月9日 今日でブドウの収穫1週間目

今年は9月2日からブドウの収穫を始めたので、今日で1週間が経ちました。毎日同じペースで作業していると、体もだんだん慣れてきました。朝が早いので、夜9時頃には就寝するようにしています。今年は、全農食品向けのパッケージを止めたので、マイペースで作業できるため少し楽です。

進捗率は、今日で約45%。昨年のデータと見比べると大体似たようなペースです。去年は、9月5日から始めて、1日だけ親戚の葬儀のために休んで、9月23日には概ね終了していますので、今年は9月20日頃には終えることができるかも知れません。

9月10日 我が家から見た秋の風景

この地区では、町がふるさと納税制度の返礼品としてコシヒカリを提供していることもあり、コシヒカリの作付けが多く、収穫の時期を迎えています。

未明に雨が降ったため窪地には水たまりができていました。5時頃に目覚めた時には既に上がっていました。台風11号の影響もあって、昨日頃から稲刈りを始めていた稲作農家の方がいらっしゃいましたが、今朝の雨は邪魔だったようで、今朝はコンバインの音がしません。

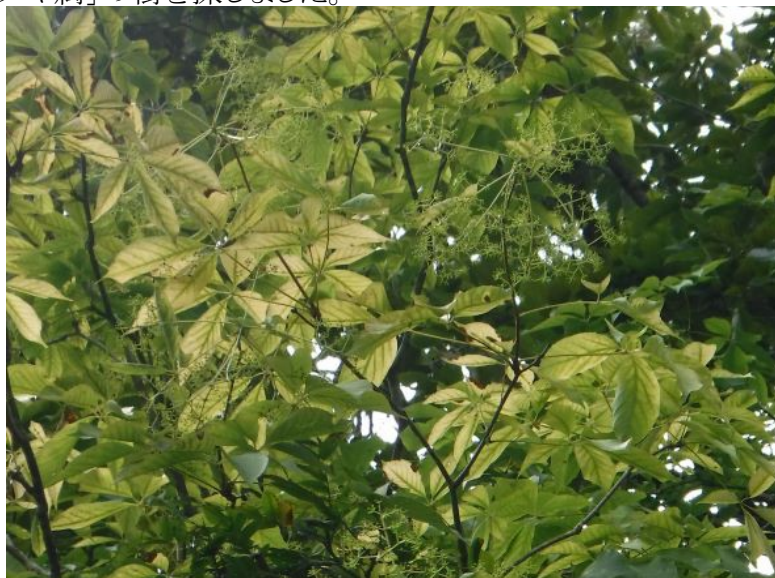


今日は土曜日なので、サラリーマンを兼ねている兼業農家にとっては稲刈りのチャンスです。しかし、思えば、この地区では兼業農家の人は少なくなりました。殆どの稲作農家は、専業というのかサンデー毎日というのか、高齢化していて特に週末でなくてもいつでも稲刈りができる人が多いのです。10年程前には、日曜百姓の人が多かったのに・・・

後、10年も経てばどうなるのかと考えると青ざめてしまいそうです。今、稲作をしている人達には後継者は殆どおらず、かつ70歳を超えている人が大半です。となると、誰が田んぼで耕作するのでしょうか？50年程前に基盤整備が完了しており、1枚の田んぼの面積は30a程になってはいますが、今の規格は100aだそうです。10年後に誰かが稲作をしているのでしょうか？今の米価では10ha作っても黒字経営ができるかどうか怪しいものです。限界集落と呼ばれて、草茫々の田んぼが広がっているなどという景色にはなって欲しくないものです。

9月11日 この樹何の木気になる樹

今日はブドウの収穫・選果・発送作業が早く終わったので、ブドウ園の周囲を探索してサビ病の伝染環となる「アワブキ属」の樹を探しました。



写真の樹なら、ブドウ園の隣地に何本も生えています。花はアワブキに良く似ていますが、葉の着き方が違うように思います。では、この樹は何の木なのでしょう？？？とっても気になります。

アワブキという名前の由来は、燃やすと泡がでる(吹く)からだと言いますが、生の木を燃やすと泡が出るのは一般的だと思いますので、これと言った特徴とは言えないでしょう。

どなたか、この樹の名前をご存知でしたら教えてください。

9月12日 microHAM u2R

そろそろ秋のDXシーズンです。10月にはCQWW SSB、11月にはCQWW CWコンテストが開催されます。コンテストでSO2Rというやり方があるらしいので、挑戦してみたいと思っています。SO2RとはSingle Operator, Two(2) Radioの略で、一人で2台の無線機を操作してコンテストを忙しく遊ぼうということらしいです。無線機が2台必要となるのは当然ながら、一人で2台の無線機を操作するためには、1つのヘッドホンや1つのマイク或はCWキーを切替て使用するために特別な装置が必要になります。その他、一方の無線機で送信中でも他方の無線機で受信できるようにするために、BPFまたはBEF(ノッチフィルター)が必要となります。今度ICOMから発売されるIC-PW2はSO2Rに対応しているとのことですが、普通のリニアアンプの場合、無線機毎に別々のリニアアンプが必要になります。



無線機やリニアアンプは2台あるので良いとして、ヘッドホンやマイクの切替スイッチを製作するか調達するかしなければなりません。一瞬作ろうかとも思いましたが、買うのが簡単です。スロバキアのmicroHAMが製造販売しているu2Rという機器が有名らしいので、これを調達することにしました。

ホームページでmicroHAMにアクセスして、ポチっとしました。10月までには到着するでしょう。お代は265EURで、送料が52EUR、合計317EURとなり本日のレートで47,787円でした。Paypalで決済しました。

9月13日 秋も半ば

2日程前は中秋の名月(満月)でしたが、生憎当地では曇りのためお月見はできませんでした。中秋というのですから、秋の真ん中ということですよ。秋が徐々に深まりつつあるのを実感する今日この頃です。

今朝、ブドウを採りに行く時、家の傍の路上に栗のイガが落ちていました。そろそろ、栗のシーズンようです。家の周囲を見渡すと、柿の実が色付き始めています。柿も栗も未だ食べていませんが、今年の柿は日照に恵まれたので、甘いかもしれません。



毎朝5時にアラームをセットして起床していますが、近頃の5時は真っ暗です。ブドウの実を取り始める頃も薄暗くて、車で取った実を運ぶ頃によりやく明るくなるという状況です。

もう9月も半ばで、あと一週間もすれば秋分(お彼岸)です。その頃までには、ブドウの収穫を終えたいものだと思います。

9月14日 直売所の問題点

私はブドウを少しだけ(道の駅に併設された)直売所に出品しています。品物を並べるスペースが限られているので、一度に多くの品物を出品するのは難しいため、少しずつ、前回出品した品物が完売したら、次の品物を持って行くようにしています。

一応、品物が売れたらメールで連絡が来るようになっているので、店に見に行かなくても大丈夫です。しかし・・・問題は、いつまで経っても売り切れないということがシバシバ起きます。でも・・・店に行ってみると品物がないのです。売れなかった品物は一体何処に消えたのでしょうか???

悪く考えると万引きされたのではないかと疑ったりもします。ナマモノなので、廃棄されるということもあるでしょう。一般的に直売所は、レジで販売された品物の代金から手数料を差し引いて生産者に振り込みます。通常の商店が品物を仕入れて販売するのとは全く異なるビジネスモデルなので、万引きされても、廃棄しても、痛くも痒くもないのです。

そういうこともあってか防犯対策は手薄なような感じがします。同じ品物を10点出品して、9点だけ販売され、残りの1点が何処に行ったのかわからない状態になると、1割引きで販売したようなものです。このリスクは出品者が被ることになるので、1割位上乗せして価格設定しないと割りが合わないこととなります。

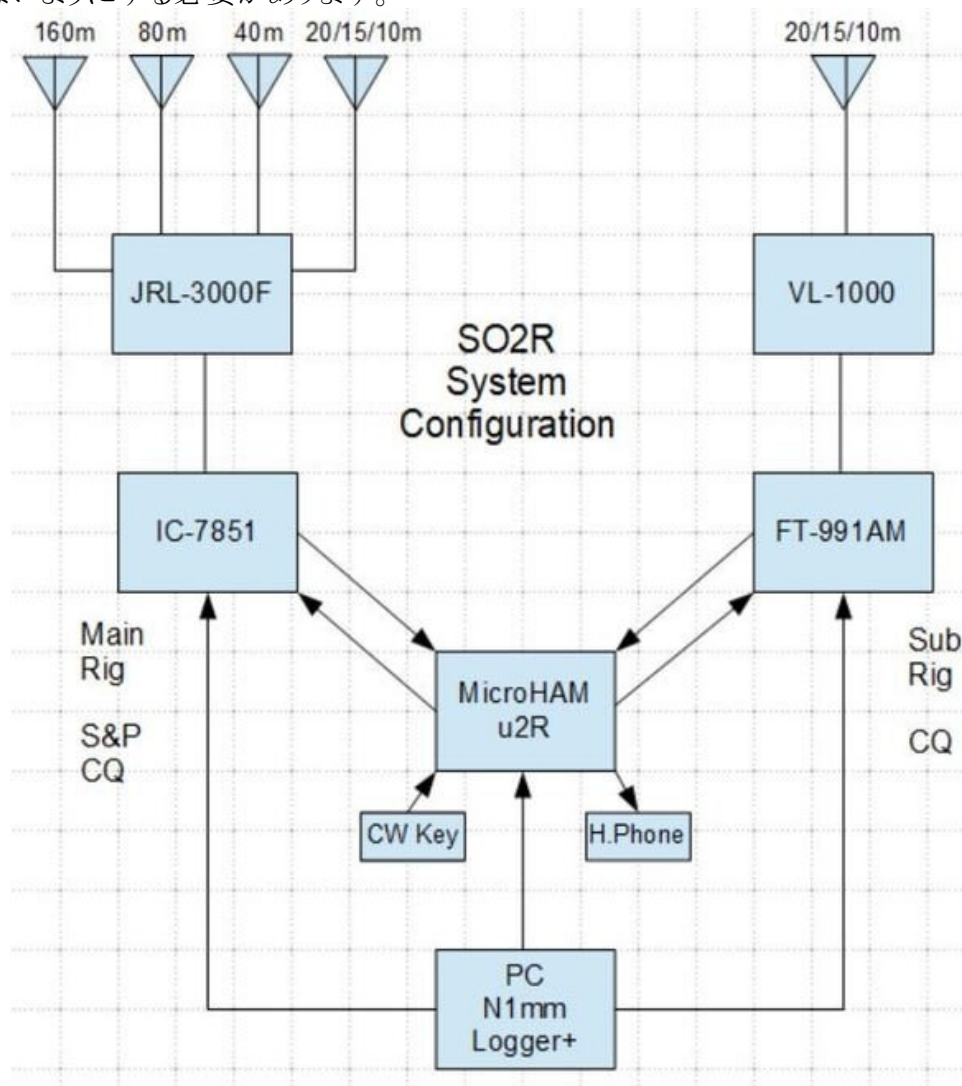
こういうこともあるので、積極的に直売所に出品したいとは思わないのです。

9月15日 SO2R 運用の机上検討

コンテストでSO2R運用するとして、机上で検討しています。今までSO2R運用している人の Shackを訪れたこともなく、自分でやったこともなく、どのようにすれば良いのか手探りの状態です。運用できるアンテナなどは個別に異なるので、自分のできる範囲で具体的に検討してみました。

私がやるとすれば、次のような構成になるでしょう。メインとサブに分けて考えます。通常は、メイ

ンで運用することになります。メインでCQを出しても応答率が悪くなったり、メインでS&Pを行う場合に、サブでCQを出すことを想定します。この時、サブで発するCQによりメインの受信機能がブロックされないようにする必要があります。



システム構成を単純化し運用方法を明確にすることで、問題解決の方法を簡単にする狙いがあります。

メインのIC-7851のRx-in・Rx-out端子を利用して、この間にノッチフィルターを挿入することになります。このノッチフィルターは、4段階の切り替えスイッチにより選択されることとします。4段階とは即ち、①20mを阻止、②15mを阻止、③10mを阻止、④阻止なしの4つです。サブでCQを出す時には、CQを出すバンドのノッチフィルターを選択すれば、サブ側で発射する電波の影響を阻止することができるでしょう。

ノッチフィルターは、5D-2Vなどの同軸ケーブルを使用して製作します。受信回路に挿入するものなので、電力の心配は無用です。同軸ケーブルで3バンド用の $\lambda/4$ オープンスタブをそれぞれ作ってロータリースイッチなどで選択します。 $\lambda/4$ オープンスタブは 0Ω になるので、そのバンドの電波だけが吸収されることとなります。このようにすれば、サブ側で発射されるCQによりメイン側の受信機能が抑圧を受けないようにすることができる筈です。

手持ちの材料だけで簡単にノッチフィルターが製作できそうなので、近日中に実験してみたいと思います。

9月16日 収穫開始から2週間目

今日で収穫を開始してから2週間(14日)が経過しました。毎朝5時起床は少々辛い(眠い)ですが、徐々に体は慣れてきました。今日までに、ブドウの房数で言うと全体の80%(3239房)を収穫し、受注数の86%(621箱)を出荷しました。14%の受注残(約100箱)がありますが、配達日が指定されているものなどがあり、全部の発送を終えることができるのは10月6日頃になる見込みです。とはいえ、今月中には収穫を100%終えて、冷蔵庫に保存する予定です。

9月17日 台風対策(アンテナ降下)

台風14号の進路予想を見ると、岡山県を直撃しそうです。しかも、超大型で経験したことのなりような大型台風とのことで、のほほんとしていては損害が大になりそうです。被害を最小限に食い止めるための予防措置として、簡単に降下できるアンテナは降ろしました。

具体的には、WARCバンド用3エレ八木(写真)の他、20/15/10mバンド用11エレ八木、6mバンド用ブーム長15mの10エレ八木の3本のアンテナはアンテナエレベータ付なので、降下しました。2mEME用2パラ八木は、上に向けてブーム端を地上に固定しました。(写真)



前の台風11号の時には、10m/s程度の風だったので何も対策しなくても被害はありませんでした。今日やったアンテナ降下作業が私にできる精一杯の努力なので、被害がなるべく小さくて済むように祈るばかりです。

9月18日 台風対策(ブドウの収穫)

大型で強い勢力の台風14号が、19日に最接近しそうです。昨日と今日の2回に分けて、ブドウをできる限り収穫しました。できる限りと言っても、土間に並べておくわけにもいかず、コンテナの数に制限があるので、2日間で460房位です。収穫したものは、配達希望日の制約がないものから順次発送しました。今日時点で、そういう制約のないものは全部発送しました。シャインマスカットは、全部収穫して冷蔵庫に保管しています。



明日は、発送を休む予定です。20日、21日の最低気温は12～13℃と冷え込む予報なので、発送予定のブドウを早朝に冷蔵庫から出せば、結露する心配はなさそうです。

ピオーネは、ブドウ棚に約500房付けたままです。台風の影響がないことを祈るばかりです。

9月19日 事務作業の日

今日は台風14号が接近しており、収穫は休止しました。従って、選果作業や発送も休みです。請求書の作成作業が滞っているので、これまでに発送した品物の請求書を全部作成しました。ポストに投函するのは明日に持ち越しです。

直販というのは手間のかかる仕事です。注文を請けて、収穫し、選果して、発送するのですが、請求書が依頼者の手元に届かないことには支払っていただけません。営業と製造と経理を全部一人でやらなければならないのです。(製造の一部は妻に手伝ってもらっています。)その点、農協を通じて青果市場に出荷すれば、営業も経理も不要なので、簡単です。15%の手数料というのはリーズナブルだと思います。ただし、自分が出荷したものは農協の選果場で等級付けして、セリで価格が決まるので、いくらで販売できるのかは成り行き任せです。

直販というのは、お客様と直接接するので、やりがいを感じることができるのでやっていますが、いつまでできることやら・・・とったりもします。今年も、沢山の注文を頂いて、ほぼ完売状態なので、足りなくなったらどうしようかとヒヤヒヤしています。注文が増え続ければ、いつかはパンクします。従業員を雇っても解決できません。ブドウを樹を植えても、ちゃんとした実が収穫できるようになるには約5年かかります。5年も経てば70歳です。その頃には楽隠居したいので、徐々にフェードアウトしたいと我がままなことを思う今日この頃です。

9月20日 microHAM u2R が入荷

先週、ポチッとしたmicroHAMのu2Rが、DHLで関空まで飛んで来て、そこからSAGAWAで我が家まで配達されました。SAGAWAの運賃は不要でしたが、消費税と消費税の立替手数料をDHLに別途支払いました。



同梱されていた品物は、写真の通りです。マニュアルなどのドキュメント類は全くありませんでした。購入するまでに u2R のマニュアルなどに目を通していませんでしたので、手元に届いてから慌ててネットでマニュアルを探してダウンロードするというありさまです。

USB ケーブルが 1 本と、3.5φ ステレオミニプラグが両端についたケーブルが 2 本と DC 電源供給用コネクタがオマケとしてついているのみです。マニュアルを読むと、3.5φ ステレオミニプラグケーブルは、u2R とサウンドカードの MIC 入力と Line 出力を接続するために使用することが出来そうですが、それ以外のケーブルは自作しなければなりません。

サウンドカードは、SSB や FT8 および RTTY を AFSK で運用する時には必要ですが、CW や無線機内蔵の USB オーディオで SSB や FT8 を使用する場合には不要です。(最近、PC のサウンドカードを使用したことがありません。)

CW のセッティングが一番簡単だろうと思われるので、取敢えず CW での運用だけにフォーカスしてケーブルを製作することにします。

コンテストロギングソフトとして N1MM+ を使うつもりなので、N1MM+ の SO2R 運用・設定方法などについてマニュアルに目を通しました。

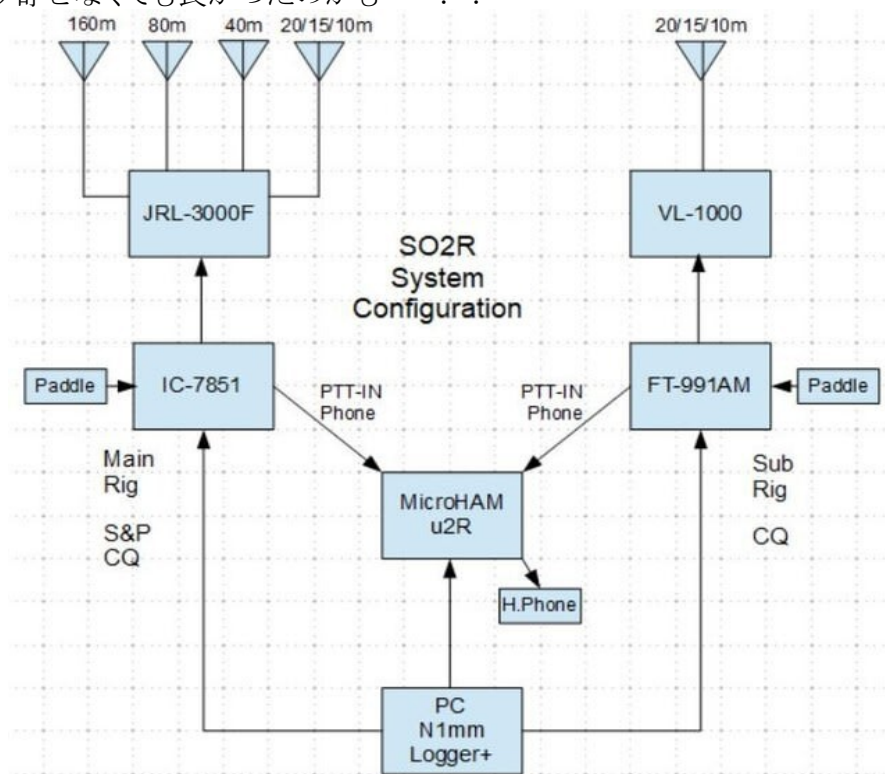
最近の Rig では、PC から周波数・モードの設定だけでなく、CW キーイングや PTT (スタンバイ) 制御などを行うことができるので、これについては u2R を経由することなく、PC から直接操作することにします。すると、その分の配線を省略できます。

CW コンテスト時に、PC のキーボードだけでは不都合なことが稀にあります。そんな時には、各無線機に別々のパドルを接続しておけば良いでしょう。(SO1R で運用する時には、いつもそのようにしていました。)

u2R にどちらの無線機が送信状態なのかを知らせるために、各無線機の PTT 信号を u2R に接続する必要がありそうです。後は、一つのヘッドフォンを切り替えて聞くために、各無線機と u2R の間に Phone 信号を接続する必要があります。

u2R の背面パネルにある Radio1/Radio2 の 9 ピン D-sub コネクタにある PTT-IN とヘッドフォン用信号 (HP-RIGHT と HP-LEFT と HP-GND) を各無線機につないでやれば良いでしょう。それ以外の 9 ピン D-sub コネクタの信号 (MIC, PTT, Key) は、オープンのままで良いでしょう。こういう使い方なら、ひょっとして PC と u2R を接続する USB ケーブルは不要かもしれませんね。試してみる必要がありそうです。もしもそうなら、u2R の Router とかなんとかのややこしい設定やデバイスドラ

イバなどのインストールも不要かもしれません。しかし、こんな使い方なら、何も5万円も払ってスロバキアから取り寄せなくても良かったのかも・・・？！

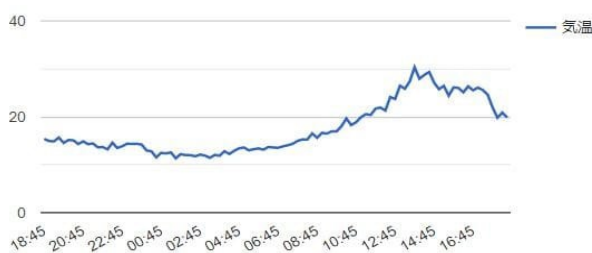


9月21日 昨夜は寒かったあ！

昨日は彼岸の入りでした。暑さ寒さも彼岸までと言いますが、先週まで30°Cを超える真夏日が続いていましたが、台風14号が通り過ぎたあたりから涼しさを通り越して寒さを感じるようになりました。とりわけ、昨夜、我が家の気象観測ステーションでは午前1時30分に11.3°Cという最低気温を記録しています。

このグラフでは、今日の最高気温は13時45分に30.3°Cが記録されていますが、最高気温はあてにはありません。温度センサーが太陽光による熱がこもるような場所に設置されていることが原因だと推定しています。しかし、最低気温はある程度信頼できると思います。

直近24時間の気象データ



朝4時頃に目が覚めた時には、寒さのあまり押し入れから布団を出しました。

9月22日 収穫開始から20日目

今日でブドウの収穫を開始してから20日目です。9月19日は台風14接近のために収穫と発送を休みましたが、それ以外の日は、毎日収穫・発送作業をしていました。今日までに受注した件数(発送する送り状の数)は502件で、未発送は22件なので進捗率は96%です。

今年着色が良かった安芸クイーンは未だ冷蔵庫に在庫がありますが、そろそろ計画的に処分しなければなりません。道の駅に少しずつ出品していますが、一度に沢山出すことはできませんので、今日その一部を、農協を経由して青果市場に出荷しました。小さな房のブドウは粒切りして、パック詰めしたものを道の駅に出品しました。



今年の安芸クイーンは色付きも良いのですが糖度も高いので、ジュースにして発酵させて白ワインにしてみようと思います。安芸クイーンで作ったワインは、フォクシー臭が効いて香りが良いのが特徴です。購入しようと思っても、日本で交配された品種であり、ワイン用としてはまず栽培されていないと思いますので、非常にレアなワインが出来上がるでしょう。

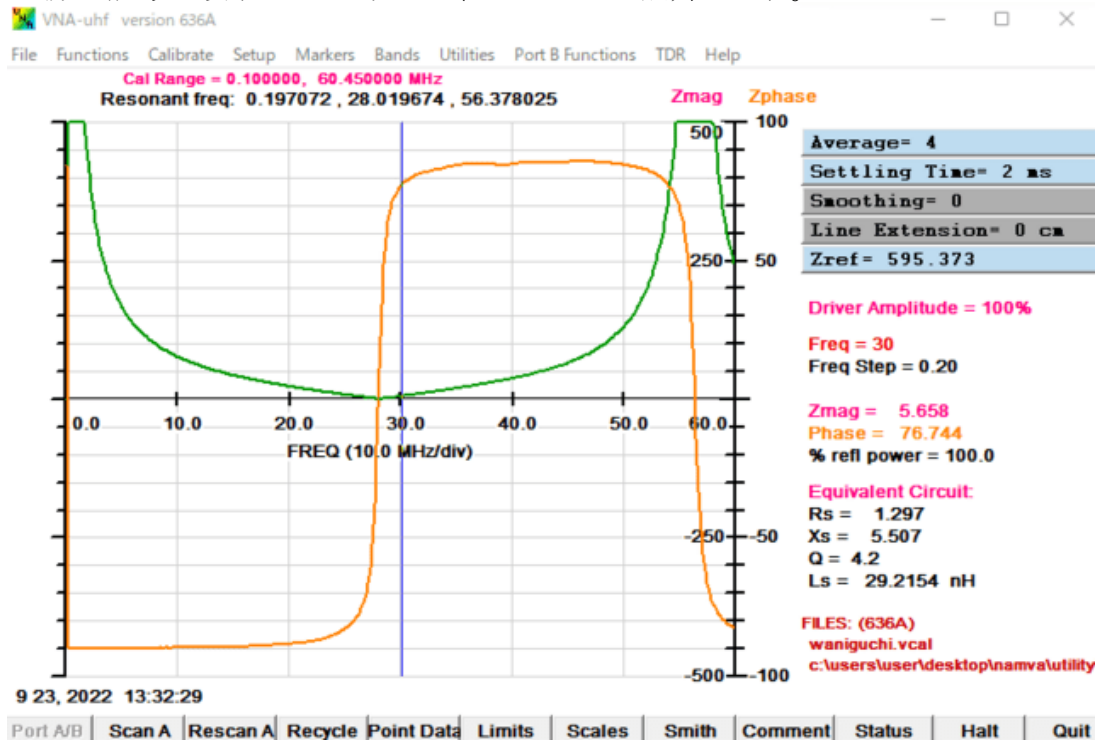
9月23日 同軸ケーブルによるノッチフィルターの製作

コンテストでのSO2R運用を目指してノッチフィルターを製作しました。手持ちのRG-58A/U同軸ケーブルを使用して、ひとまず10mバンド(28MHz帯)用のノッチフィルターを作ります。同軸ケーブルの波長短縮率が0.67の場合の各バンドの電氣的1/4波長になる長さを計算しました。

同軸ケーブルによるノッチフィルターの製作				
f[MHz]	λ [m]	$\lambda/4$	波長短縮率	電氣的 $\lambda/4$
14.05	21.35	5.34	0.67	3.58
21.05	14.25	3.56	0.67	2.39
28.05	10.70	2.67	0.67	1.79

同軸ケーブルを1.8mの長さに切断して、VNA UHFで共振周波数を測定しながら、少しずつ切

断していきました。最終的に、共振周波数=28.019MHzとしました。片端をオープンにして、IC-7851のRX-outとRX-inの間に平行に接続して、 $\lambda/4$ オープンスタブとして使用します。VNA UHFのグラフからわかるように、共振周波数近傍では抵抗分(緑の線)がゼロ近くになるため、この周波数近傍の信号は吸収されてノッチフィルターとして振舞います。



9月24日 ちかごろ気になる製品

何日か前にネットでEcoflow社Delta Proの72時間タイムセール of 広告を見かけました。定価44万円のところ20%オフで販売されていたのです。私は、EF Deltaを持っているので今すぐに欲しいとは思わなかったので購入しませんでした。が、スペックをよく見るとなかなか興味深い製品だと感じました。



どの辺が？という、①容量が3600Whと大容量なので、500W出力のリニアアンプ(入力1kW)を使ってFT8でずっと呼び続けたとしても、7.2時間オンエアできる。②WiFiまたはBluetoothでリモコン操作できる。③2台直列に接続すればAC200Vのリニアアンプにも給電できる。

商用電源が来ていない山の上のコンテナハウスで運用する時の電源として必要な諸元を備えているなあ・・・と感じたのでした。以前、リモコン操作できる発電機を検討したことがありますが、40万円位の価格でした。それに比べると、少しですが軽量ですし、騒音や排気ガスが出ないので、コンテナハウス内部に設置することができます。

電力が欲しければ、山の上のコンテナハウスに商用電源を引き込むという方法が順当ですが、電力自由化以降、引き込みに掛かる電気工事代はほぼ全額需要家が負担するということらしいので、40万円やそこらでは足りそうにありません。なので、モバイル電源は最も有望な選択肢であると考えられます。

ソーラーパネルから直接充電することもできるので、コンテナハウスに常設しておくことも可能です。1日に数時間のDXハンティングをするというのであれば、ソーラーパネルからの充電だけでも十分に運用可能だと考えられます。(400Wのソーラーパネルから1日4時間充電すると・・・1.6kWhです。)

スマホに専用アプリをインストールしてWiFi経由でリモートコントロールできるらしいのですが、プロトコルは公開されていないようです。しかし、実物を手にすればリバーズエンジニアリングできるんじゃないかと思ったりします。そうすれば、携帯電話回線を使用してモバイルルーター経由で離れた場所(我が家)からDelta Proを遠隔操作できます。無線機を遠隔操作する前に、電源も遠隔操作できるようにしなければなりませんので、こういう製品が出てくるのを待ちわびていました。

9月25日 裏庭でピザパーティー

村を猿から守るために結成されたモンキーセブンの仲間達と10時頃から捕獲柵周辺の草刈りをしました。その後、我が家の裏庭でピザパーティーをしました。

気候も良くなって気持ちよく過ごすことができました。



9月26日 礼肥の施肥

ブドウの収穫が100%終わった訳ではないのですが、まだブドウに葉がついているこの時期に礼肥を施肥します。遅伸びするシャインマスカットとピオーネの特定の樹に対しては肥料の量を他の樹よりも少なめ(7割)にしました。また、肥料の量は10aあたりの推奨値を基準にして、樹冠面積で1本の樹あたりの施肥量を計算しました。

1本あたりの樹冠面積のパターンが2通りくらいありますし、遅伸びの減量も勘案すると施肥量も何通りもできましたが、スプレッドシートで計算しました。

ブドウ棚	樹番号	本数	品種	樹冠面積	備考	総樹冠面積	重み	仮想樹冠面積	割合	ピオーネ専用		粒状チャンス	
										全体	1本あたり	全体	1本あたり
	1~3	3		96	良好	288	1.00	288	0.17	17.39	5.80	7.83	2.61
	4	1		96	遅伸び	96	0.70	67.2	0.04	4.06	4.06	1.83	1.83
	5~7	3		96	良好	288	1.00	288	0.17	17.39	5.80	7.83	2.61
	8	1	ピオーネ	96	若木(5年目)	96	1.00	96	0.06	5.80	5.80	2.61	2.61
広田	9~10	2	安芸クイーン	72	良好	144	1.00	144	0.09	8.70	4.35	3.91	1.96
	11~12	2	シャイン	96	遅伸び	192	0.70	134.4	0.08	8.12	4.06	3.65	1.83
	13~14	2	シャイン	96	良好	192	1.00	192	0.12	11.59	5.80	5.22	2.61
東	15	1	デラウェア	36	良好	36	1.00	36	0.02	2.17	2.17	0.98	0.98
	16~22	7	ピオーネ	72	遅伸び	504	0.70	352.8	0.21	21.30	3.04	9.59	1.37
	坂下	23	1	シャイン	72	若木(4年目)	72	0.80	57.6	0.03	3.48	3.48	1.57
						1908		1656	1	100.00		45.00	

今日は昼間の気温が30℃近くになる暑い日でした。暑さ寒さも彼岸まで・・・というのは昔の話なのではないでしょうか？その暑い中、屋外で肥料を計量してはバケツに入れて、手で撒きました。5時間近い作業になり、汗びっしょりになってしまいました。

施肥の後は灌水して肥が効きやすくすることが推奨されていますが、運良く明日は雨の予報です。なので、今日中に礼肥の施肥が完了するように、暑さに負けず頑張りました。



9月27日 ピオーネのジュース作り

今日は未明から雨降りでした。正午頃には土砂降りになりましたが、午後3時頃には上がりました。天気の都合で、野良仕事はお休みして、保管しているブドウでジュースを作りました。



ブドウジュースを作るために、4年程前にジューサーを購入しましたが、昨年も一昨年もジュースは作りませんでしたので、おさらいのために取扱説明書を一読しました。果汁を絞ることが目的なので、目の粗い「あらごしフィルター」を使いました。2時間程かけて約4リットルのピオーネのジュースができました。

このジュースにワイン酵母を混ぜて冷暗所に置いておけば、ジュースが変化して別の飲み物になります。



9月28日 ローテーターコントローラを棚上げ

そろそろブドウの収穫が終わり、秋の DX シーズンになるので、夏の間中断していたアマチュア無線活動の再開時期です。SO2Rの実験などをしようと思っているのですが、その前に、今の机のレイアウトを少し変更してスペースを確保することにしました。ローテーターのコントローラが4つもあって、599ラインの上に並べていましたが、邪魔なので、壁に棚を取り付けて、その上に移動させました。



ちょっとしたスペースが出来たので、色々なものを並べて実験できるようになりました。

棚を取付けてみて思ったのですが、棚板の幅は910mm(奥行250mm)ですが、これを更に2枚増設すれば、更に色んな小物が並べられそうです。いつも座っている場所の正面に設置してもディスプレイ(21インチx3面)と干渉することはない、頻繁に操作するものならば、正面の方が操作性が良さそうですね。ただし、リグや電源のように重いものはNGですが、IC-705ならOKかも・・・

9月29日 安芸クイーンのジュース作り

今日17箱の2kg箱を発送しました。来週10月6日に7箱発送すれば完了です。配達希望日を承っているのに、中には10月になってからの配達を希望される方もおられるのです。現在ブドウ棚にはピオーネが約100房あります。収穫が遅くなると晩腐病などの病気により、ブドウが劣化するのでなるべく早く収穫を終えたいのですが、カスタマーファーストなので精神でやっているの仕方ありません。10月6日に全部収穫してジエンドにする予定です。商売というのは、お客様のご要望を聞いてナンボだと、サラリーマン時代に叩き込まれました。

発送の準備を終えてから、安芸クイーンを冷蔵庫から取り出してジュースにしました。今年は空梅雨で、ピオーネやシャインマスカットの作柄は房が小さくてあまり良いとは言えない状況でしたが、安芸クイーンは色付きが良く糖度も高く良い出来でした。ピオーネやシャインマスカットに比べると熟す時期が早いので、8月下旬に全部収穫して冷蔵庫に入れて保管していました。

30房位在庫があったので、全部ジュースにしました。勿論発酵させて別の飲み物にするつもりです。



そのために、ホームセンターで水タンクを購入して、Amazon でエアロックも購入しました。エアロックと水タンクのキャップをうまく接続するために、3D プリンターでアタッチメントを作りました。(写真で黄色に見える部品)



ブドウジュースを発酵させて別の飲み物にするには、今頃が丁度良いように思います。近頃は、9月でも夏日になる日があったりするので、9月上旬にジュースにして即発酵させたのでは、酵母に悪影響があるようです。(ジュースのまま低温で貯蔵しておけば問題ありません。)発酵に適した温度は10~25°Cくらいだそうです。1か月もすれば発酵が終わるでしょうから、それ以降は少々寒くなっても大丈夫でしょう。

9月30日 10mバンド用ノッチフィルターの実験

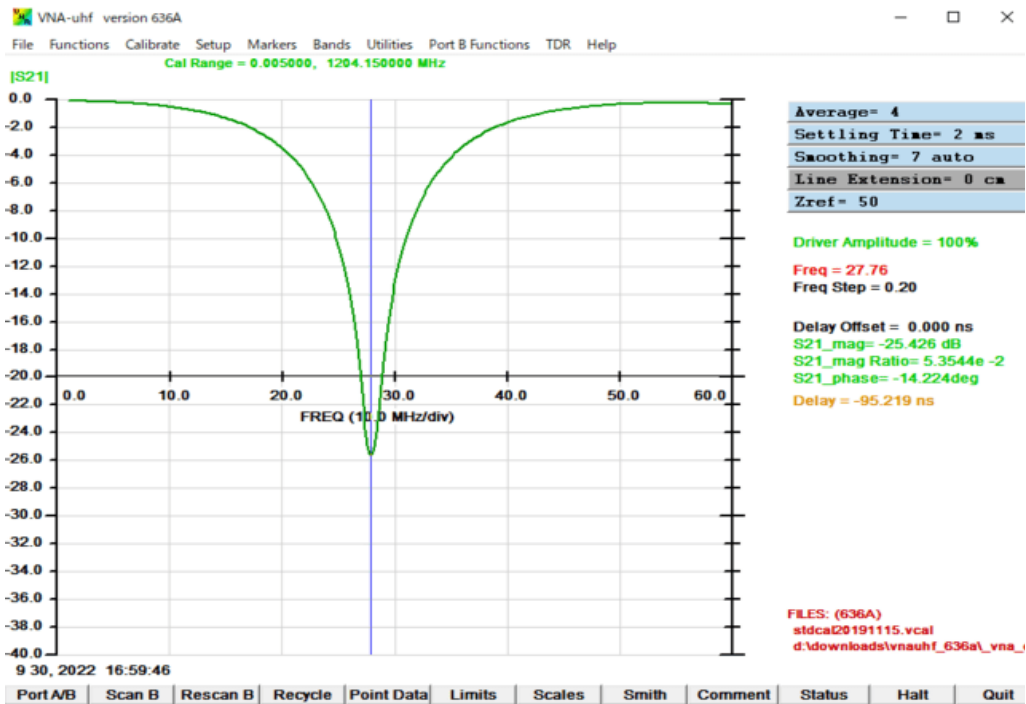
9月23日のブログで紹介している10mバンド用ノッチフィルターをIC-7851のRXB-out, RxB-in間に接続して実験しました。別のリグ(IC-7700)にアンテナを接続して、28050kHz近傍でキャリアを出したり止めたりしながら、IC-7851で21040kHz近傍を受信してキャリアの影響とノッチフィルターの効果の有無を確認してみました。

実験してみて分かったことは、IC-7851は選択度が良いというのか、BPFが良く効いているというのか、IC-7700でキャリアを出しても殆ど影響を受けることなく受信できるということです。FT8のQRGである21074kHzなどを受信していると全く気が付きません。普段信号のない21040kHz近傍を受信していると、少しだけノイズレベルが上がったような感じがしました。これは、IC-7851に例のノッチフィルターを接続していない(アンテナセレクターでRX-IOを使用しない)場合です。こういう状態なので、ノッチフィルタが役に立つかどうか耳で聞いて評価するのは無理だと思って諦めました。

ひょっとして、SO2R運用する時でも、マルチバンドパスフィルター(またはノッチフィルター)は不要なのかもしれません。折角自作しようと思っていたのに・・・

これでは面白みがないので、製作した10mバンド用ノッチフィルターの周波数特性をVNAuhfを使って測定してみました。





ディップ周波数は27.76MHzで、この周波数における減衰量は25.4dBです。まだ少し長いようですが、少なくとも28MHz帯のCW帯では20dB以上の減衰量を確保することができているようです。

一方、14MHz帯では1dB程度の減衰量ですが、21MHz帯では約4dBの減衰量になっています。

SO2Rのために3バンドノッチフィルターを製作しようと思ってBNCコネクタなどの部品を調達しましたが、どうしようかなあ？作るのやめようかなあ？それとも思い立ったんだからやっちゃまおうかなあ？

取りあえず、同軸ケーブルを切り刻んで15m用と20m用の $\lambda/4$ オープンスタブを作ってみようと思います。